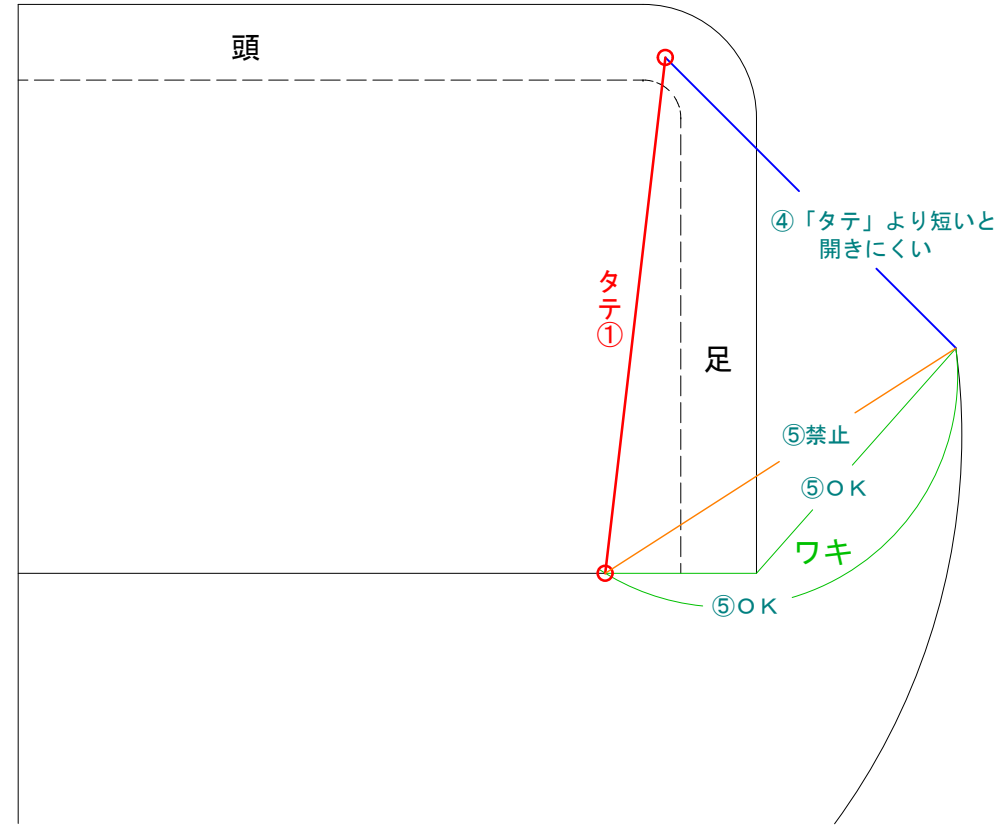
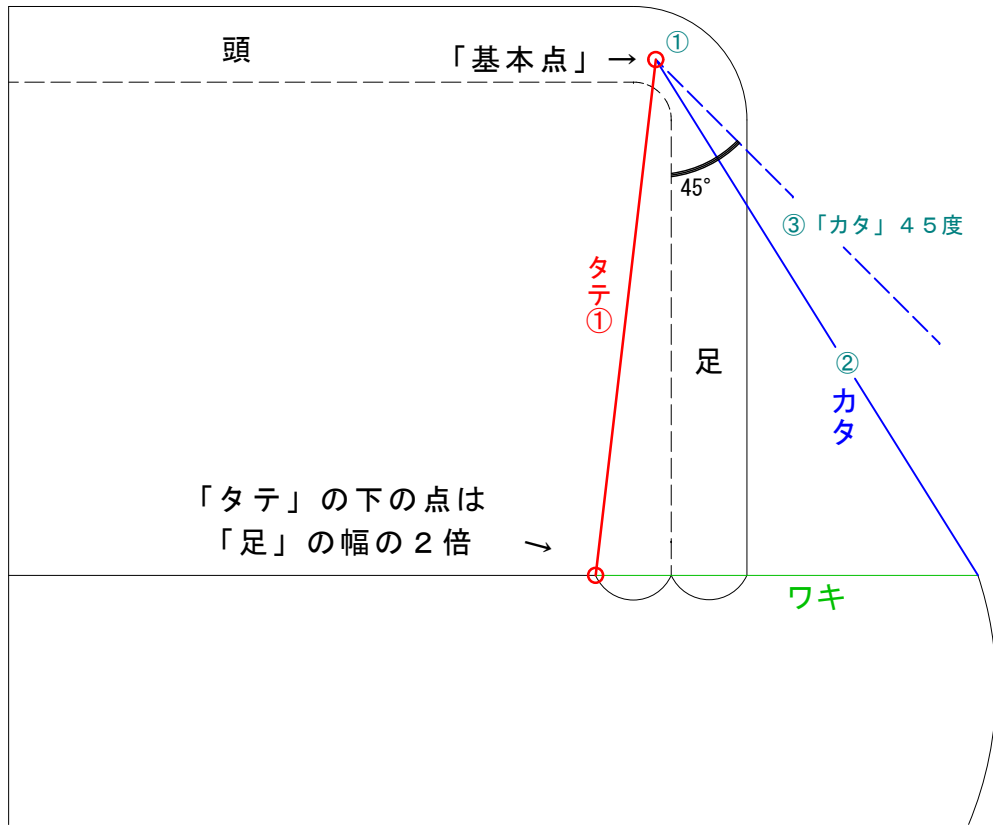


<注意点>

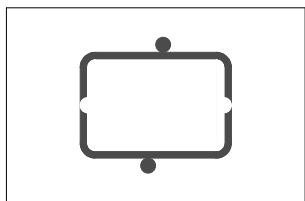


- ① 「基本点」はフレームの線の1mm外側に打つ。
- ② 「カタ」のラインは必ず直線で引く。
- ③ 「カタ」の高さは45度までが基本。

- ④ 「カタ」の長さは、「タテ①」の長さより短いと開きにくい。口枠がはめにくい。
- ⑤ 「ワキ」は、がま口のフレームを必ずさける。

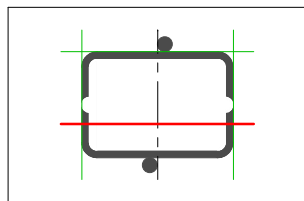
[がま口元型を作る]

1. 【「がま口」をコピーする】



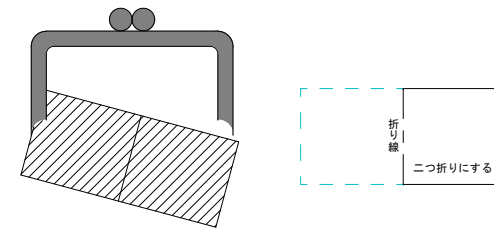
「がま口」にぴったりハマる型紙「がま口元型」を作ります。
まず「がま口」を開いてコピーをとりましょう。

2. 【上と横をカット】 緑の線



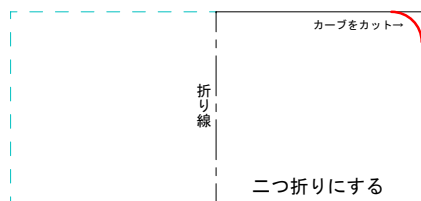
両サイドを緑の線ギリギリでカットします。
上も同じように緑の線でカットします。
下は余分なので、赤の線あたりでカットしておく。

3. 【横幅を調節する】



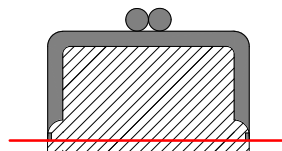
「がま口」にハマて様子を見ながら、少しずつ切って
微調整しましょう。（切る時は2つ折りにして左右一緒に）
※ピッタリに切るが、切りすぎるより、ギリギリ少し大き目が良い

4. 【カーブをカット】



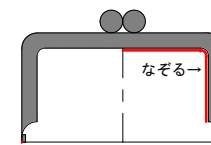
カーブをカットして「がま口元型」が「がま口」の
奥まで入る様に微調整しましょう。
（切る時は2つ折りにして左右一緒に）

5. 【「型紙」の下をカット】 赤の線



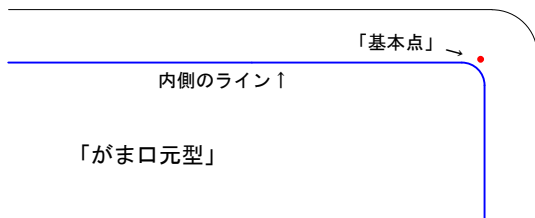
「がま口元型」を「がま口」の奥に差し込んで「がま口元型」の
下（赤の線）を「がま口」の足の先ちょうどでカットします。
※片方の「足の先」に印を付けてから、2つに折り切り込みを入れて広げてカット。

6. 【「がま口」のラインを描く】



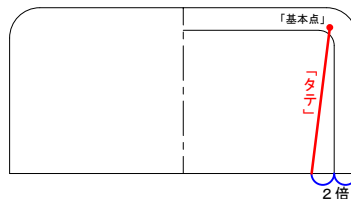
「がま口」の内側のカタチをなぞり、「がま口元型」の右半分に
「がま口」のラインを描きます。

7. 【「基本点」に目打ちを打つ】



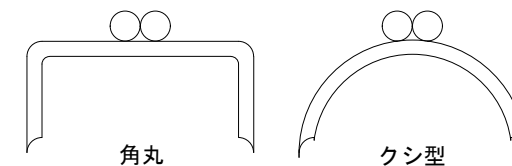
「カタ」の始まる点に目打ちを打ちます。
これを「基本点」と言います。
※ライン上ではなく約1ミリ外側に打ちましょう。

8. 【「タテ」の赤ラインを引く】



「基本点」から下へ、「がま口」の足の幅2つ分の位置に
赤い線を引く。この線を「タテ」と言います。

・ 補 足



角丸のがま口は、縦と横が直角で交わっているので、それぞれの長さが分かれば
後は角をがま口のカーブに合わせて切るだけなので少し簡単です。
クシ型のがま口になると全体がカーブしていますので、それにぴったりハマる
「がま口元型」を切るのが難しいです。